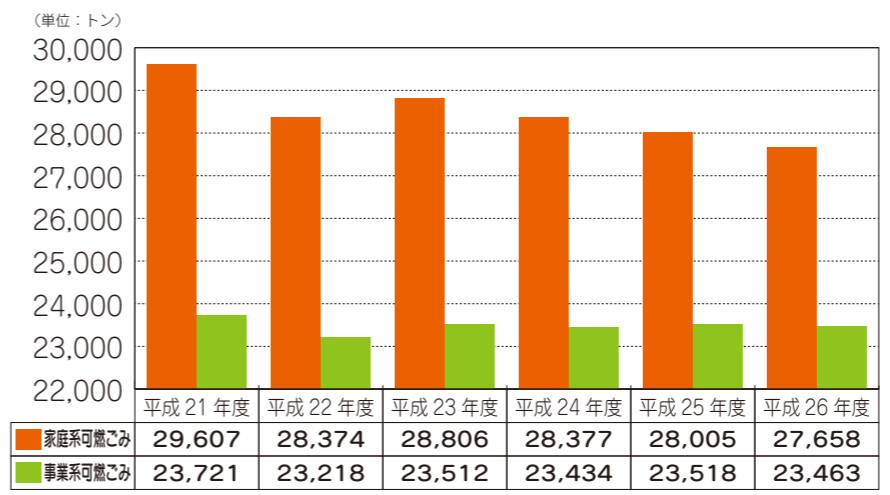


# 限りある資源を大切にしよう！

問い合わせ先 本庁舎生活環境課

TEL 0857-20-3218 FAX 0857-20-3045  
MAIL kankyoo@city.tottori.lg.jp



鳥取市可燃ごみ搬入量（家庭系・事業系）

## 事業系ごみを分別・リサイクルしましょう！

ごみ焼却場への持ち込み量は、家庭系可燃ごみは減少傾向ですが、事業系可燃ごみは増減を繰り返しています。ごみの減量やリサイクルをすすめることにより、事業所にもメリットがあります。環境意識を持ち、廃棄物の減量にご協力ください。

## ○ごみの減量・リサイクルのメリット

【地球環境の保全】  
ごみ減量等の取り組みを進めることにより、資源保護・省エネルギー・汚染物質の削減など、次世代へ良い環境を残すことができます。

## 使用済の小型家電は大切な資源です。使用済小型家電の回収にご協力ください。

ご家庭の電気や電池で動く小型の家電製品（小型家電）には、貴金属やレアメタルといった有用な金属が含まれています。しかし、その多くが埋め立てられ処分されています。

使用済となった小型家電をリサイクルするため、本市では、平成26年11月から使用済小型家電の回収を始めました。市役所本庁舎、駅南庁舎、各総合支所、イオン3店舗などの市内14か所に回収ボックスを設置して回収を行っています。

排出状況や今後の課題などを検証するため、公立大学法人鳥取環境大学に使用済小型家電の回収状況に関する調査



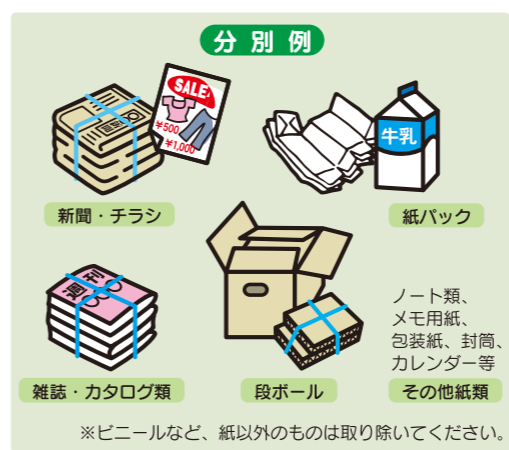
回収された小型家電

## 【コストの削減・効率化】

設備や事務用品などの無駄遣いを減らし、職場での体系的な節約を行うことで、ごみの減量化と経費の節減・効率化が期待されます。

## 【職場内の活性化】

ごみを出さない職場・製品づくりに取り組むことで、

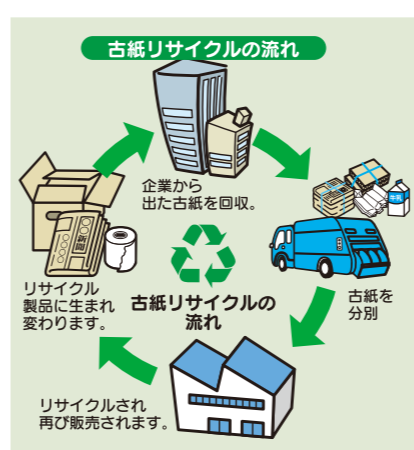


## ○シュレッダーごみについて

シュレッダーによる処理は再生可能な紙類として取り扱っていただけます。機密文書などを取り扱う業者もありますので、分別を行い、なるべくリサイクルに回しましょう。

## ○紙類（古紙など）のリサイクルを推進しましょう

ごみ焼却場に搬入される事業系可燃ごみの中には、リサイクル可能なものが多く含まれています。



駅南庁舎に設置された小型家電回収ボックス

## 小型家電回収ボックスの内訳トップ3

場所別	重量別		個数別		
	場所	重量	品目	重量	品目
① 本庁舎	753kg	パソコン等	1,316kg	パソコン等	623 個
② 駅南庁舎	739kg	映像用機器	716kg	携帯電話等	581 個
③ イオン鳥取北店	635kg	電気音響機器	699kg	電気音響機器	441 個

その結果、調査期間の4か月で回収できた使用済小型家電は4919台でした。最も回収量が多かった場所は本庁舎、回収量が多かった品目はパソコンでした。使用済小型家電の回収を活用していただきますと、小型破碎ゴミの回収日でなくても小型家電の排出ができます。また、使用済小型家電のリサイクルが進むと埋め立て処分地の延命化や処分経費の削減、不法投棄の防止につながります。使用済小型家電の回収にぜひご協力をお願いします。

## 違法な不要品回収業者にご注意ください

チラシや広告などを配布し、トラックや空き地などで不用品の回収を行っている業者のほとんどが、一般廃棄物処理業の許可を得ていません。また、引き渡された廃家電が、不法投棄され環境汚染につながる事例も発生しています。市のルールに従い適切にリサイクルをしましょう。無許可の違法収集業者を利用したことで、高額請求されるなどトラブルが発生しています。

## ◆職場でできる4R◆

**① リフューズ Refuse 断る**  
ごみになるものは断る

- 過剰包装を控え、簡易包装を推進する。
- 持ち帰りの弁当などを購入する際は、自分の箸を持参し、お店で箸を断る。
- 丈夫で品質が良く、長く使える物を選んで購入する。

**② リデュース Reduce 発生抑制**  
ごみを発生させない

- 両面コピーを積極的に行い、コピー前に設定の確認を行ってミスコピーを減らす。
- 電子メール等を利用し紙を削減する。
- 商品・販売管理の徹底により、無駄がでない仕入れの調整を行う。
- 水筒の持参により、缶やペットボトルの使用を減らす。
- お茶やコーヒーなどはできるだけ自分専用のカップを用意する。

**③ リユース Reuse 再利用**  
繰り返し使う

- 使用済み用紙（片面コピー）の裏面利用を行う。
- 繰り返し使用できるびんなどリターナブル容器を使った商品を選ぶ。
- 筆記用具・のり等は詰め替え製品を使用する。
- 一時的に必要なものについては、リース、レンタル方式などを利用する。

**④ リサイクル Recycle 再資源化**  
資源に戻す

- 缶・びん・ペットボトル・紙コップなどは分別容器を設置する。
- 分別して資源回収業者へ引き渡す。
- なるべく再生品を選び、複数の素材でできたものより単一の素材で出来た製品を選ぶ。